

新年を迎えるにあたり

令和3年8月の大雨災害については、令和元年の佐賀豪雨の再来となるような状況で、小城市においても大きな被害がありました。市内では、住宅、道路、河川、農業施設等で多数の被害が出ており、その他山間部でも多数の土砂災害が発生しました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。市では職員一丸となって早期復旧に取り組んでいくと決まっています。

また、7月24日には、念願だった有明海沿岸道路の芦刈南ICから福富ICまでが開通になり、六角川をまたいで芦刈町と白石町を結ぶルートには県内最大級の橋梁「六角川大橋」(全長982m)が架かり、移動時間の短縮や既存道路の混雑緩和に繋がりました。



このような利便性の向上により、住みよいまちづくり、住みたいと思われたいまちづくりを今後進めていきたいと考えております。

さらに、将来に向けた、防災対策のための牛津川遊水地計画の推進、誰もが安心して生命と健康を託せる温かい新公立病院の整備、子どもたちの豊かな心と健やかな体の育成や地域の活性化に繋がるフットボールセンターの建設など、市民の皆さまの安全・安心、そして健康と住みやすさを重視したまちづくりを進めるため、さらに邁進していく所存です。

令和三年十二月吉日

市長 佐藤 昌弘



◀10月に巨人から育成ドラフト指名を受けた鴨打瑛二投手が表敬訪問



5月の東京2020オリンピック聖火リレー

Photo by Tokyo 2020



◀7月の有明海沿岸道路 芦刈南IC～福富IC 開通記念式典



六角川大橋